33-41. Roy, R. P., B. M. B. Shinha & A. R. Sakya. 1971. Brit. Fern Gaz. 10: 193-199. Sasamoto, I. 1970. J. Geobot. 18: 68-73. Serizawa, S. 1972. J. Jap. Bot. 47: 44-53. Tsai, J. 1972. J. Sci. & Eng. (Taichung) 9: 125-132.

*　*　*　*

邦産フモトシダ属植物3種2雑種の体細胞染色体数を算定した。結果は，イシカグマが 2n=84，フモトシダが 2n=168 及び 2n=252，フモトカグマが 2n=252，ニセオドリコカグマ（新称，オドリコカグマ×イシカグマ）が 2n=126，クジャクフモトシダが 2n=168 であり，染色体基本数は x=42 と推察された。従来，邦産のフモトシダ属では，主として x=43 が報告されていたが，本当に x=43 の系統があるのかどうか，再検討を要する。各々の種類についてみると，フモトシダに種内倍数体（4x・6x）があること，従来3x のみ知られていたクジャクフモトシダに4x も存在すること等が明らかになった。

□池上義信（監修）・石沢進（編集）：**新潟県植物分布図集　第1集**［Y. Ikegami (comp.), S. Ishizawa (ed.): Distribution maps of vascular plants in Niigata Prefecture (Japan) Vol. 1］178 pp., 50 maps, 12 pls. 1980. 植物同好じねんじょ会（新潟県小千谷市山寺，関省吾方）. ¥3,500. 新潟県におけるシダ類および種子植物の分布を正確に記録し，同県産植物の集大成を目的としたもので，正式印刷された府県単位の分布図集の嚆矢である。（本書以前には青森県生物学会（1967～'73年）の作ったとう写版のものがある）。約100万分の1の等高線入りの淡色地図に，金井方式で記録された50種の分布点が黒丸で示され，美事な出来ばえである。分布図ごとに資料標本のくわしいデータリスト，関係文献およびノートが付いている。植物写真がプレートに示され，巻末には石沢による県内の分布型20型が概説されている。大縮尺の分布では日本全図とは異なった発見があり興味深い。たとえばヒトリシズカ，マルバハギ，クマノミズキなどである。これらのデータはカード方式で整理されており，綴じ本の他に加除式のものも作られている。基礎のしっかりした分布図の作成は，完全な植物誌にとって不可欠なものだが，多年にわたる大変な努力を要するため，どこでも実行にかかれなかった。監修編集の両氏をはじめ，関省吾，伊藤至氏ら44名の同志の熱意に敬意を表すると共に，その完成を期待したい。わが国のローカルフロラ研究も，府県単位の分布図を作る段階に入り，今後これを参考に同様な企画が生れると思うので，以下の点を希望する。標本データの引用は略さずに記してほしい。本書では採集者略号が意外とわかりにくい。また分布点と標本の対応がつけられないのも不便である。個人所蔵の標本が多いが，これらは将来にわたって参照できるよう，しかるべき公的機関に収蔵することを考えてもらいたい。地域的に精疎があるのはやむを得ないが，なるべく多くの人が参加できるような形に発展させてほしい。また大学や研究所所蔵の標本も積極的にとり入れれば，一層充実したものとなるだろう。　（前川文夫，原寛，金井弘夫）